

～慶良間の海は、親子クジラのゆりかご～

Since 1991



好きだからこそ！ザトウクジラの未来を守ろう！

慶良間諸島国立公園海域は「ホエールスイム禁止」

座間味と渡嘉敷の自主ルール遵守にご協力を！

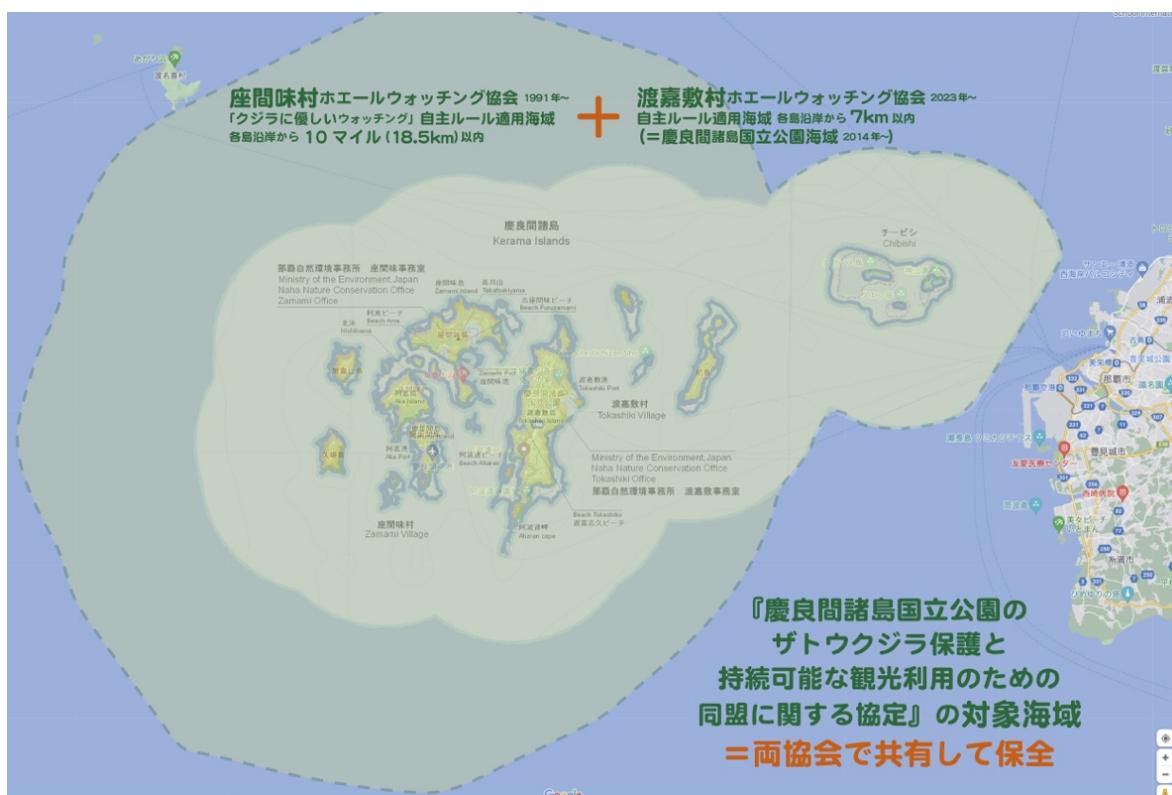


この度、『座間味村ホエールウォッキング協会』と『渡嘉敷村ホエールウォッキング協会』は、ザトウクジラの繁殖海域を未来へ守り、魅力ある観光地であり続けることを目的に、正式に同盟の協定を結び、一丸となって共有海域の保全を強化していくことになりました。

両協会は30年以上前から、絶滅が心配されているザトウクジラの保護と持続可能な観光利用の両立に努力してきましたが、近年、沖縄や奄美でオーバーユース等によるクジラへの悪影響の懸念が高まり、科学者の研究結果でも、特に、未来を担う親子クジラへの影響が深刻化しています。

そこで私たちは「沖縄近海の中でも、特に重要な繁殖海域であり国立公園である慶良間海域だけでもしっかりと守っていこう」との切実な思いで、慶良間諸島国立公園海域が、ザトウクジラの親子にとって100年先まで安心して過ごせる聖地になれるよう、力を合わせて取り組んでいきます。

図の緑色の点線に囲まれた海域が「ホエールスイム禁止」などの慶良間の協定ルール適用海域です。ご理解とご協力をよろしくお願ひいたします。この沖縄の海がいつまでも「ザトウクジラに優しい安住の地」であり続けるよう、ともに協力し合って取り組めることを心から願っています。



【協定の基本姿勢(抜粋)】

- 数千kmの旅の果てに慶良間海域に帰ってきて子を産み、絶食しながら授乳して育てる母クジラの過酷な子育てを邪魔しない。
- 慶良間海域で育ち、生後わずか3ヶ月程で数千kmの旅をしなければならない子クジラの授乳や休息など成長にかかる時間を見守る。
- 子クジラの授乳や休息を邪魔することになり、数千kmの旅の途中で命を落とす可能性を高めてしまうホエールスイムは認めない。



【お問い合わせ窓口】

『慶良間ザトウクジラ保全利用部会準備会』事務局(担当:高松)

E-mail: zwwa1991@gmail.com / TEL: 080-8370-1084

【環境省ブランドブック】

『慶良間諸島国立公園のホエールウォッキング』
日本語版／英語版あり